



ふれあいが

かわら版 創刊号



ライオンズクラブ国際協会 335-D 地区キャビネット 〒670-0932 姫路市下寺町 43 姫路商工会議所新館 3F
TEL 079-281-8444 FAX 079-281-8421 http://www.lc335d.gr.jp

徹底討論!!!

ガバナーは LCIF に騙されているのか!?

各クラブの会長と一問一答の会話を収録したものです。

A会長：毎年毎年寄付しろ！と言っていますが、何かすつきりしないまま、上納金を納めているように思うのですが、どうなっているんですか？

小林：そう思われるのも仕方ないですね。皆さんにはなにも知らされていないのですからね！

皆さんが国際協会の会費を納めていますね。これは、国際協会の運営費なんです。LCIFへの寄付は、国際協会の事業費と思ってください。

B会長：でもね、どこでどう使われているか、まったく分かったもんじゃありませんよ！

小林：そうですね！私も昔は皆さんと同じように思っていましたよ。

C会長：どうなんですか？ 事実ですか？

小林：いえいえ、全く違いますよ。

国連が、あのフィナンシャル・タイムズに、世界のNPOやNGOの寄付資金の使用について、クリーン度を調査させたんです。

結果はLCIFが一番だったんですよ！ちなみにユニセフは20位だそうですね。LCIFの寄付金の使用は他の団体などと異なり、百パーセント奉仕に使われているんです。

D会長：でも、人件費や印刷費、ピンとかいろいろな費用はそこから使っているんでしょう？

小林：いいえ、一切使っていませんよ！

運営費や事務費に使われることは有りません。

E会長：LCIFは3億ドルの資産を持ち、2億9千万ドルが投資に回されているじゃないですか！

小林：良くご存知ですね！

もう少し深く知って欲しかったですね！

LCIFのFはFoundation (ファンデーション) の頭文字で、基金の意味ですよ！資産ではなく基金なんです。基金を運用し利益を出し交付金として活用しているんです。

ちなみに昨年度は、寄付金3千9百万ドルに対し交付金・支援プログラムの

支出合計は、4千7百万ドルなんです。従って人件費も他の費用も寄付金には、一切手をつけていないんです！

B会長：じゃあ、実際にはどのようなことをしてるんですか？

小林：日本では、皆さんご存知の四大交付金のライオンズクエストには、一準地区に2万ドル。

東南アジアで学校建設

や井戸掘り等に対し費用の半額を交付されています。当然、直接建設費用のみですよ！

東日本大震災では2174万ドル以上・熊本地震では361万ドル、九州北部豪雨災害では二日後には10万ドル交付されています。

世界においては、大災害に対し非常に多額の交付金が支出されています。

いま、はしかで亡くなる子供が毎日367名もいるんですよ！はしかですよ！

LCIFは今年度380万人に予防接種を行っています。今までに1億5千万

人に予防接種を行い、その命を救っています。

また河川盲目症には、ノーベル生理学・医学賞を受賞された大村智教授の発見のイベルメクチンを2億数千人に投与し盲目から救い、共に間もなく撲滅されます。

A会長：いままで20ドルがなぜ今年度100ドルになったんですか？

E会長：LCIFが50周年だからですか？

小林：いや、100ドルにすることで、皆さんにLCIFについてなにと関心を持って頂きたかったのです。

LCIF寄付は本来個人の気持ちでするものです。現状は事業費からの支出で、メンバーが寄付をしているとの意識が殆ど無く、もったいないと思っています。

個人が出すことにより、寄付していることが意識付けられると同時に、百人の命を救っているんだ等、心中胸を張れるのではないのでしょうか。

これがライオンズのステータスと同時にプライド



ではないでしょうか?
 また、世界中で大災害が頻発し、そこに多くの交付金が支出され、従来の交付金が先細りになっていく心配があるのです。
 『100ドルへの価値観は人により違います。
 しかし1年に一回だけ美味しい食事を辛抱する、月に二回だけコーヒーを我慢すればでお金です。あとは皆様やクラブの考えに任せます。』
 ライオンズクラブのモットーをご存知ですよ!
We Serve ですよ!



クワガククネイビネイ



2R1Z
 加古川東ライオンズクラブ
第1回
ライオンズクラブカップ
こども将棋大会
 8月20日(日) 於: 加古川総合文化センター
 加古川市、高砂市、稲美町、播磨町の小中学生を対象にこども将棋大会を開催いたしました。
 A級4名、B級14名、C



級96名の合計114名が参加され、ケーブルテレビ・神戸新聞のマスメディアにも取り上げていただきました。

暑中お見舞い葉書
 「かもめーる」寄贈
 7月11日 新宮町小学生全児童に暑中お見舞い葉書「かもめーる」を寄贈しました。



5R1Z
 ハリマ新宮ライオンズクラブ
社会を明るくする運動
街頭啓発活動
 7月3日JR播磨新宮駅前にて保護司会と婦人会、ハリマ新宮ライオンズクラブのメンバーで街頭啓発活動を実施しました。
 学生を対象に声掛けをし、記念品として書類ケースを手渡しました。

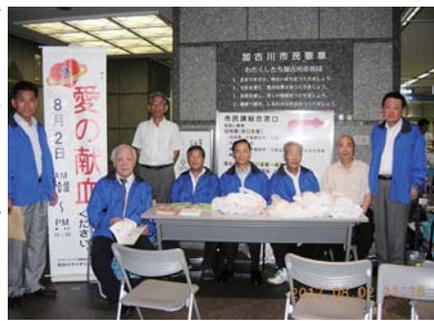
第1回献血事業報告
 猛暑の中、本年度第1回献血事業を加古川市役所前広場で行いました。



2R1Z
 加古川ライオンズクラブ
薬物乱用防止教室
 7月4日加古川市別府西小学校に於いて6年生120人を対象に薬物乱用防止教室をL稲田L住田2名の講師により実施いたしました。



受付数 83人・献血者
数 62人・確保量 24,
800ml



**ブラジル・マリンガ市へ日
本語図書・教材を寄贈**
平成29年8月16日加古
川市の姉妹都市、ブラジ
ル・マリンガ市の加古川・
マリンガ外国語センターへ
日本語図書・教材18点
及びアイパッド1台を加古
川市国際交流協会を通じ
て寄贈いたしました。



3R2Z

西脇ライオンズクラブ

ライオンズの森の整備

7月18日過去に寄贈し
た植栽・建造物など現状
把握と整備事業としてラ
イオンズの森の整備と、西
脇総合市民センター時計
台付近の整備と青少年健
全育成健全広告塔を設置
しました。周辺が大変美
しくなりました。



薬物乱用防止啓発講演会

7月20日県立西脇高校
にて薬物乱用防止啓発講
演会を開催しました。
薬物乱用防止啓発ビデオ
鑑賞と、当クラブ前会長
河原淳医師による講演を
頂きました。

全校生886名熱心に聴
講、学校より夏休み前
でもあり大変感謝して
いただきました。



チャリティーバザー開催

7月22日西脇病院フェ
スタにて、西脇市民病院で
計画中のシンボルカラ
イルミネーション(いろん
な病に対する啓発ライト
アップ(例) 乳がん啓発ピ
ンクなど) 設置への資金
援助の為、チャリティーバ
ザーを開催しました。各
会員持ち寄り、当日に備
え準備万端、大勢の皆さ
んにお買い上げいただき
ました。また、九州北部豪
雨義援金としての募金箱
を設置し、募金を呼びか
けました。



夏期来日学生受入事業

受入れ期間7月25日
(火)～8月8日(火)
ホストファミリー岡本隆史
フィンランドからの来日学
生 Viena Ailasmaki
iさんをホームパーティー
に招待しました。

猛暑の中、クラブメンバー
の山小屋を会場に、木陰
で時折吹く涼風が心地
良い手作りのバーベキュー
パーティー。日本語会話
も上手な Viena Ailasmaki
さん、クラブメン
バーや地元西脇市の若者
らとも和気あいあいと会
話も弾み、楽しい時間を
過ごしました。



5R1Z

**龍野ライオンズクラブ
校内型ワークショップ**

平成29年7月27日・
28日 9時～17時。J
IYD認定講師 柴咲子先
生を招き、たつの市立半
田小学校の先生を中心に
校内型ワークショップを実
施。たつの市教育委員会
協力のもと、他校の小中
学校の先生も参加され、
二日間熱心に受講されま
した。半田小学校の校長
先生自らも聴講され、ラ
イオンズプロジェクトライフ
スキル教育プログラムに感銘の

辞を述べられていました。
後日、受講された先生方
から、学校での実践体験
報告を発表していただく
予定です。今後もライフ
スキル教育ワークショップ
を拡大・浸透する活動を
続けます。



ワンハンドレッド交歓会

他クラブの方々100名を
目標に集まって、親しくお
話ができる機会を持ちたい
という思いで、「ワンハンドレ
ッド交歓会」を9月2日(土)
にサンシャイン青山にて開催
致しました。親クラブであ
る姫路LC、兄弟クラブで
ある姫路鷺城LC、龍野LC
がスポンサーさせて頂いた
山崎LC・太子LC・ハリマ
新宮LC・揖保川LC・た
つの赤とんぼLC・西はりま
LCさんに声を掛けさせて
頂きました。第一部は「A
Iが創る未来について」我々
は未来に向かってチャレンジ
していくライオンズマンな
ぞという意味を込めてNTT
西日本の方に講演をして頂
き、第二部はL井戸のシャン
ソンやL新福の歌と舞を楽
しませて頂きながら楽しい
夕べを過ごすことが出来ま
した。また、このような交
歓会を持ちたいなど思ってい
ます。ご参加下さった皆様
ありがとうございました。





5R2Z 佐用ライオンズクラブ
アユ狩り大会
 2017年7月27日(木)
 開催
 「佐用町手をつなぐ育成会アユ狩り大会」に鮎の寄贈を致しました。40年以上も続く事業で毎年心待ちにされ、大変喜ばれております。



5R2Z内
合同アクティビティ
 5R2Z内合同アクティビティとして、ちくさ高原エリア内(ライオンズの森)にブナ30本・ユナラ58本の植栽を行いました。

4R1Z 出石ライオンズクラブ
第15回 谷山川ウオッチング
環境ネット出石 『あそぼう どんご』 キッズ2017
開催運営に協力
 出石町内の環境保全地域づくり活動グループ「環境ネットいずし」が主催の、町内を流れる谷山川で「谷山川ウオッチング」と題して、川に親しみ、川で遊ぶイベントに参加協力を致しました。
 当日のプログラムとして「生きものさがし」「クレヨン取り」「マスのつかみ取り」「いかだ遊び」などが行われ、子供からご年配まで多くの方々にぎわいました。
 250匹のマスを出石LCより提供し、参加者がつかみとったマスを塩焼にする作業に従事しました。女性部から夏野菜スープを提供して頂き、楽しい昼食交流会となりました。身近で自然に親しめる環境が整っているというのは、素晴らしいことだと思います。子供たちも五感をつかった遊びでさぞかし楽しめた事でしょう。

出石室見台 桜なわて整備作業
 9月3日(日) 出石の入口沿道、室見台に連なる桜並木(福祉ゾーン)の整備作業を実施しました。室見台沿道では、今から16年前に当クラブ事業で桜の苗木120本の植樹を行いました。毎年木の下まわりの蔓葉を刈り、消毒、施肥作業を行なっています。また、豊岡市から指定管埋運営を受諾している出



1R1Z 姫路市 姫路大手前ライオンズクラブ
ラジオ体操の集い
 ライオンズクラブ100周年記念奉仕チャレンジ・姫路大手前LC50周年記念事業
 「姫路市民ラジオ体操の集い」協賛
 7月17日(海の日) 早朝さわやかな風を感じる中、姫路城を見上げながら「姫路市民ラジオ体操の集い」が開催されました。
 今年度はライオンズクラブ100周年記念奉仕チャレンジ・姫路大手前LC50周年記念事業として開催しました。
 参加賞として文具セットを準備し、近隣の小学校や新聞を使って地域の皆



様に参加を呼び掛けたところ小・中学生を含め姫路市内外より約2,000人の方が参加下さいました。
 「ありがとう！」の声をたくさん頂き、地域の皆様と交流を深めることができましたと思います。

お夏・清十郎

紙芝居セツトの寄贈

姫路市野里にお夏・清十郎比翼塚があり、毎年8月9日には「お夏・清十郎まつり」が盛大に行われています。

「お夏・清十郎」は姫路を舞台に豪商の娘の「お夏」と奉公人の「清十郎」の結ばれぬ恋の物語です。最近の子ども達は、地元の有名人のお話を知らず、また地域の人の記憶からも薄れつつあります。

この事を危惧した野里まちづくりの会と県立姫路東高等学校の生徒により江戸時代の悲恋「お夏・清十郎」の紙芝居を制作されました。



5R1Z

揖保川ライオンズクラブ

揖保川ライオンズクラブ
杯小学生ソフトボール大会

7月16日(日)西播磨リトルソフト連盟の18チームによる熱戦が繰り広げられた。成績において、今年も地域の中でも小規模校の河内小が、準優勝を飾った感動の場面もあった。



5R1Z

西はりまライオンズクラブ

七月
平成二十九年 論語に
学ぶ人間学セミナー

好評を受けて今年で九年目に入った論語セミナー。昨年にも使用していた「仮名論語」に加え、「図解論語 正直者がバカを見ない生き方(齋藤孝著)」をテキストに学んでおります。

後半の講義は、憲法について学ぶセミナーとして十二月までの講座となっております。



九月
平成二十九年 論語に
学ぶ人間学セミナー

好評を受けて今年で九年目に入った論語セミナー。人間学セミナーも今年度七回目となります。昨年にも使用していた「仮名論語」に加え、「図解論語 正直者がバカを見ない生き方(齋藤孝著)」をテキストに学んでおります。



ご期待
求む記事・写真

編集後記

本年度、地区ガバナー小林寛のご方針により「ふれあいかわら版」を発行することになりました。当初の予定より手間取り、発行が遅れてしまい申し訳ありませんでした。

創刊号としましては、LCIFの周知記事と、ご報告いただきました。7月にクラブアクティビティ報告があったクラブですが次号からはさらに内容を充実していきますので、ご期待ください。

次号は各ゾーンチエパーソンや地区委員長、そしてマーケティング・コミュニケーションIT委員からの記事そして各クラブに於かれましては、アクティビティ報告・予告だけでなく地域の特色の有ることや、広く知って欲しい事など、どしどしご報告下さい。写真を多く掲載ご希望の際は、その旨メール頂ければ、個人情報保護のため誌面ではお伝えすることが出来ませんが、有効で簡単な方法のご連絡をいたします。

発行を楽しみにしてお待ち頂ける誌面にしたいと思いますので、どうぞご協力の程をお願い致します。

マーケティング・コミュニケーションIT委員会